

急性期脳梗塞における deep learning 画像再構成法の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2020 年 2 月 1 日～2021 年 12 月 15 日に発症した脳梗塞の方で、発症から 24 時間以内に当院で頭部単純 CT を受けられた方。

2. 研究目的・方法

急性期脳梗塞の診断において CT は広く用いられていますが、MRI と比べて画像が見づらいために、読影者間で CT の所見のとらえ方にばらつきが出る場合があります。より正確な診断を行うためには、より見やすい CT の画像が求められています。

最近、CT の新しい再構成法である deep learning 画像再構成法が登場し、従来の再構成法よりもノイズが低減され、見やすいことが示されています。

本研究では、deep learning 画像再構成法が従来の再構成法よりも急性期脳梗塞の正確な診断に結び付くかについて研究を行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、診断名、CT・MRI 画像および撮像日時、症状、治療内容、退院時の全身状態 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：

住所：010-8543 秋田市本道 1-1-1

電話：018-834-1111(代表)

所属：秋田大学医学部 放射線科

研究責任者：今野素子